

NEWSLETTER

No110519

SUMMARYno110119 において以下のことを述べました。

「オペレーションの実践力を身につけ技術水準が向上し実績を積み上げても、時々基礎に立ち返ってください。『基礎』とは初心者が学ぶべき易しいレベルの内容という意味ではありません。すべての土台であり理論上最も深い内容を含んでいます。生涯をかけてもカバーしきれないほどの深い内容が隠れています。」

そして、次の2つの項目を掲げました。

- (1)マトリックスの数値構造とバリューチェーンの価値構造
- (2)バリューチェーンの活かし方

“基礎”において最も重要なのは上記(1)の「マトリックスの数値構造とバリューチェーンの価値構造」です。そのうち、とりわけ、大事なのが「マトリックスの数値構造」です。

毎日見ているので十分理解していると思わずに何度でもご覧ください。ナンバーオペレーションの全ては「マトリックス」がなければ始まりません。F1、F2、F3、F4、F5、F6 の個々の数字ではなく F1 ~ F6 を塊として見ます。それが“構造”で、数値によって形成された形なので「数値構造」(“Structure of Numbers”)と呼んでいます。

個々の数値より全体の構造を見ることがなぜ大事かというすべての数値がつながっているからです。個々の数値は独立していないということです。マトリックスを見る際のキーワードは「循環性」と「連続性」です。それと「時間」を意識することです。

久しぶりにトライアングル(三角形)の図を掲げます。

図形の数値の間隔は正確ではありません。イメージとして受け止めてください。この図形(イメージ)こそが数値構造の本質を表しています。

それは同時に、マトリックスの数値構造がどのようにマネーを生み出すかを示しています。

△AGF はマトリックス全体を示しています。
△ABC は F1、F2、F2^F1 の数値からなる構造です。
また、△LMF は F5、F6、F6^F5 の数値からなる構造です。

現在の△ABC はかつて△LMF の位置にあったのです。
「循環性」と「連続性」の意味がそのようなイメージによってわかるはずです。
同時にマネーがどのように生み出されるか、そのメカニズムがイメージできないでしょうか。

